

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	健康福祉サービスを強化する		主管部	保健福祉部
個別施策名	1	高齢者支援体制の整備	関係部	-
				-

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者支援については、「健康でいること」、「健康寿命を伸ばすこと」の重視という方向から、健康でなくとも地域で暮らせるという方向に重点を置いていったほうがいいのではないかと。</li> <li>・高齢者支援については、今後も地域性を鑑みて、高齢者率の高い地域に対して重点的に対応していくことが必要と考える。</li> <li>・高齢者の支援体制の仕組みと運用のそれぞれにおいて、他部所、民生委員、包括支援センター等との連携が必要と思う。</li> <li>・高齢者を包括的にケアしていくためには、協力員というボランティアではなく、自由に動けるケースワーカーを増やさなければならない。</li> <li>・支援体制については、地域の協力だけではどうにもならない部分があることから、相互扶助等のモデルケースをつくり、それを普及させていくことを検討してもらいたい。</li> <li>・緊急通報システム等について、日中独居の方への支援体制を整えていくべきではないかと。</li> </ul>		
提言		<p>高齢者施策についての、仕組みと運用を区分けしながら、施策全体が高齢者支援の事業としてわかるように、考えて施策を進められたい。</p> <p>包括支援センターを中心として、各地域に、的確なニーズに対応できるようなワンストップの拠点をつくっていくことを期待したい。</p>		

提言に対する回答、取組方針、取組時期等	
<p>高齢者施策については、つくば市高齢者福祉計画に基づき、日常生活圏域ごとに施設整備計画も含め、高齢化率など実情に応じた介護サービス提供体制を整備するとともに、拠点となる地域包括支援センターの設置を順次進めております。</p> <p>高齢者が住み慣れた地域で安全で安心して生活が続けられるよう、介護予防事業、認知症対策事業や在宅サービスなどの充実を図り、併せて生活支援体制整備事業を通じて地域の住民やボランティアなどの貴重な社会資源を活用した新たなサービスを創出し、地域包括ケアシステムの更なる深化を目指します。</p>	

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	健康福祉サービスを強化する		主管部	こども部
個別施策名	2	子育て環境の整備	関係部	保健福祉部
				-

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> <li>・あかちゃん訪問事業について、例えば、病気であったり、不自由があったりという場合の障害関係へのフォローアップが少ないという話を聞くことがある。</li> <li>・子育て環境を、子ども、母子、家族としたときに、家族支援というものがあるべきだと思う。</li> <li>・市内で出産できる病院が非常に少ないという話をよく耳にする。これから出産をされる方が、市内で出産できる仕組みづくりについて、対策を考えてもらいたい。</li> <li>・未成年や未婚の出産等に対応した形での養護施設等も考えていく必要がある。</li> <li>・放課後児童クラブ事業については、児童クラブに申し込めなかった方がいるということも考えて、どういうものであれば利用できるかという調査から行ってもらえると、ニーズを把握しやすくなると思う。</li> </ul>		
提言		<p>出産から子育て、就学というプロセスの中で、切れ目のない相談あるいは支援体制を行うことを引き続き実施されたい。</p> <p>個別のニーズに対応した形でのフォローアップ、さらに、子どもたちの人口が急増急減している地域の中で、それぞれの地域のニーズを踏まえた対応に努められたい。</p>		

提言に対する回答、取組方針、取組時期等	
<p>切れ目のない相談・支援の充実を図るために、ニーズ調査や積極的な相談体制づくりに努め、本当に必要とされる個々の不安・疑問を解決していく。</p> <p>産院等の誘致について、今年度制定した「つくば市産婦人科施設開設支援事業条例」に基づき引き続き実施していく。</p> <p>より安心した子育て支援を実施するため、妊婦健診に加え産婦健診、産後ケア事業の実施、また、医療機関や関係機関と連携し様々な相談に対応できるように設置した「母子保健コーディネーター」を有効活用する。</p> <p>あかちゃん訪問時に、保健師に子育て相談室職員が同行し、育児の悩みや不安を聞き、養育が困難な場合には、子育て支援短期養育事業について案内をし、状況によっては児童相談所を通じた養護施設等の入所について説明をしていく。</p> <p>「第二期つくば市子ども・子育て支援プラン」の策定に当たって実施する子どもの保護者に対するニーズ調査等により、TX沿線や周辺地区で異なる地域特性等から生じる課題を的確に把握していく。</p>	

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	健康福祉サービスを強化する		主管部	保健福祉部
個別施策名	3	障害者の地域生活支援	関係部	-
				-

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジアートフェスティバル等においては、企画や制作の段階で市民と障害者、施設が関わるような、インクルーシブ、ユニバーサルを目指すことが大事だと考える。</li> <li>・障害者移動支援サービスについては、どのようなときに、どのように利用できるのかということがわかりにくいため、使いやすい支援サービスとして周知方法を検討されたい。</li> <li>・国の助成事業については、市の一般財源として別途手当をするような仕組みづくりが可能か検討してもらいたい。</li> <li>・身体障害者施設の不足を課題としてあげているが、対応されていないため、検討が必要である。</li> </ul>		
提言		<p>おひさまサンサンフェスティバルやチャレンジアートフェスティバルについては、インクルーシブという理念を実現できるように、一般の人たちと障害を持っている人たちが共に事業をつくり上げていく方向性も加味する形で事業の改善を図られたい。</p> <p>また、サービス事業については、少し柔軟性を持たせた形で、利用者の目線に立ち、利用しやすい仕組みづくりを検討されたい。</p>		

提言に対する回答、取組方針、取組時期等	
<p>おひさまサンサンフェスティバルやチャレンジアートフェスティバル等の社会参加促進事業については、事業の目的・主旨に沿った上で、障害のある方も障害がない方も共に参加でき、スポーツ・レクリエーション事業として楽しめるよう、市と実行委員会が連携して推進します。</p> <p>また、障害福祉サービス事業等については、国の補助事業でもあることから、制度の趣旨や目的に基づき、各種サービスの利用が促進されるようガイドブックやチラシ等により事業の周知を行っていきます。</p>	

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	健康福祉サービスを強化する		主管部	保健福祉部
個別施策名	4	生活困窮者福祉の推進	関係部	-
				-

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算事業別事務事業評価シートに示された指標については、「○%（○人）就労」のように、実数も含めて表記したほうがわかりやすいのではないか。</li> <li>・ 生活困窮者世帯の子どもに対する学習支援事業については、子どもの場合、自分が学習支援の対象者であるという認識を非常に持ちにくく、ある意味で負い目を負わせることになってしまうという問題がある。</li> <li>・ あらゆる福祉関係機関との連携が必要となることから、連携、情報、効果というものに力を入れたらどうか。</li> <li>・ 教育局の教育相談センターや教育相談支援員との連携も必要である。</li> </ul>		
提言		<p>主に子どもに対する学習支援については、子どもたちの不利益とならないように、なおかつ生活困窮の連鎖を断ち切るような施策として、今後市内全域で展開していくことを期待したい。</p>		

提言に対する回答、取組方針、取組時期等	
<p>つくば市では、SDGsの基本理念である「誰一人取り残さない」という包摂の精神のもと、生活困窮の連鎖を断ち切る施策として、平成29年度から子どもの学習支援事業を実施しております。</p> <p>まだ事業を実施していない地区も多いという課題を踏まえ、他の学習支援を行っている団体や関係機関と連携し、実施方法を見直しながら、市内全域での展開を目指します。</p>	

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	健康福祉サービスを強化する		主管部	保健福祉部
個別施策名	5	健康づくりの推進	関係部	-

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりの推進の中で、身体的な健康には力を入れているが、精神保健については触れられていない。地域の精神的な面や心の健康ということについて、取り組むといいのではないか。</li> <li>教育委員会等と連携し、子どもへの健康教育を考えてもらいたい。</li> <li>つくば健康マイレージ事業とICT高齢者いきいき健康アップ事業への参加方法がわからないため、市が積極的に勧めて、参加できるようなシステムにしてもらえるといい。また、これらの事業は運動状況を記録するという点で共通していることから、1本の事業として統合できるのではないかと思う。</li> <li>健康は非常にプライベートな問題であることから、市が無理に民間と同じような意味合いで取り組む必要はないのではないか。</li> <li>検診受診の啓発については、現在実施している方法がベストと思わず、様々な形を検討されたい。</li> <li>検診受診率向上のためには、根本的な部分で対応が必要と考える。</li> </ul>			
提言	<p>検診受診率向上のための啓発事業の内容について再考されたい。</p> <p>また、子どもも含めた形で、市民全体の健康増進のための意識、動機づけを高めていくような方法を検討されるとともに、精神保健等についての配慮を進められたい。</p>			

提言に対する回答、取組方針、取組時期等	
<p>つくば市の特定健診受診率は、県の平均を下回り、伸び率も鈍化していることから、国保年金課職員による通知や電話などによる個別受診勧奨への取り組みを強化し、検診の普及啓発・受診率の更なる向上を図る。また、個人通知の記載内容をより見易いものに改め、その効果を検証する。</p> <p>平成31年度から「健康マイレージ事業」の対象者を小学生以上とすることにより、児童から高齢者までの幅広い年代を対象に、家族ぐるみで楽しく継続して健康づくりが出来る環境をつくる。</p> <p>こころの健康を維持するための、保健師による電話・面接相談、医師・臨床心理士などによる「こころの健康相談」、「こころの体温計」など、精神面の健康への取り組みを更に強化するとともに、自殺対策基本法の改正により、全ての都道府県及び市町村に義務付けられた「自殺予防対策計画(31~32年度)」の策定に市全体で取り組み、誰も自殺に追い込まれることのないつくば市の実現を目指す。</p>	

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	教育日本一を目指し教育内容を充実する		主管部	教育局
個別施策名	6	小中一貫教育の充実	関係部	-
				-

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この施策は小中一貫教育ありきだと思うが、小中一貫教育はいいことだけではないという声を聞くことから、小中一貫教育を実施する目的に立ち戻り、検証し直すということを考えてもいいのではないか。</li> <li>・小中一貫教育が具体的に動き出したことで、どのような効果を狙っているのか、成果が上がっているのかということについて、市は検証等を行っているのか。他自治体との比較、検証が必要と考える。</li> <li>・学校の大規模化等を予測しながら教育していかなければならない。子どもたちへの教育のやり直しはできないため、不安に思う。</li> <li>・豊かな心育成事業については、小中一貫教育の特徴とするものではないのではないか。</li> <li>・個別施策が曖昧で、個別事業とどのように結びついてくるのか、わからないということがある。 もう一度、教育とは何か、つくばにおける教育は何かということを考えて上で、重点事項を組み立ててはどうか。</li> </ul>			
提言	<p>小中学校での教育を連携させていくという観点や、教育方針の一貫性、あるいは教育内容の連続性について、評価、検証を行った上で、小中一貫教育の方向性を検討されたい。</p>			

提言に対する回答、取組方針、取組時期等	
<p>小中一貫教育は、小学校と中学校の9年間で系統的・継続的な教育カリキュラムを編成し、小学校段階と中学校段階の教員が教育上の目標を共有して教育を実施するものである。このことを保護者や地域の方々に広報し、周知させる。</p> <p>これまでの小中一貫教育については、平成29年11月から、つくば市教育評価懇談会を開催し、平成30年度7月に同懇談会から「つくば市の小中一貫教育の成果と課題 調査報告書」の提出があった。この調査報告書を参考にして、より良い小中一貫教育を推進する。</p> <p>つくば市戦略プラン改定に向けて、施策に紐づく個別事業の再検討を実施する。</p>	

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	教育日本一を目指し教育内容を充実する		主管部	教育局
個別施策名	7	つくばスタイル科の充実	関係部	-
				-

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくばスタイル科の充実という個別施策と個別事業がどのように結びついているのかわからない。紐づく個別事業を見直さない限り、評価はできないと思う。</li> <li>・つくばスタイル科の考え方は学校間で統一されていると思うが、学校間での学力格差については検証しているのか。</li> <li>・つくば市は科学のまちというイメージはあるが、ICT教育がそこまで必要だろうかとも思う。</li> <li>・教育については、まず、自頭をつくってからスキルを身に着けるという方向ではないだろうか。小学校低学年からICT教育を行うということについては疑問がある。</li> <li>・ディスレクシア等の障害のある児童、生徒について、電子機器の持ち込みを許可するなどの柔軟な対応を検討されたい。</li> </ul>			
提言	<p>市内全域での条件整備を進められたい。</p> <p>児童、生徒の適正に応じて、相応しいICT教育を進められたい。</p> <p>また、つくばスタイル科の内容はICT教育に関するカリキュラムのみではないことから、ICT教育の推進について、つくばスタイル科の推進という施策で特出せず、教育環境の整備等の個別施策において評価すべきである。</p> <p>さらに、つくばスタイル科の内容を検証しながら施策を進められたい。</p>			

提言に対する回答、取組方針、取組時期等
<p>つくば市戦略プラン改定に向けて、施策に紐づく個別事業の再検討を実施する。</p> <p>系統性を重視し、一貫性のある教育を推進する観点から、単元プランの見直しのためのワーキンググループの設置や単元プラン集の作成を行い、引き続き、つくばスタイル科の充実を図り、子供たち一人一人が、これからの時代をやさしく、しなやかで、たくましく生きていくために必要な社会力の育成を目指す。</p>

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	教育日本一を目指し教育内容を充実する		主管部	教育局
個別施策名	8	教育環境の整備	関係部	-
				-

個別施策の評価				
評価	C	施策の成果が確認できないため、大幅な見直しを要する。		
意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食センターの建設については、完成に時間がかかっているように感じる。できるだけ早く完成されればと思う。</li> <li>・学校等適正配置計画については、学校の場所と学区と通学路に関する問題がある。それらは計画して設定できないものなのか。また、学園の森義務教育学校が完成したばかりで過密化ということはおかしいのではないか。</li> <li>・学校等適正配置計画は5年に一度の見直しということだが、開発等に合わせて、柔軟に対応できるような仕組みがあるといいのではないか。</li> <li>・学校等適正配置計画については、他部局との連携が必要であると考える。</li> <li>・学校の果たしていく役割として、地域との結びつきが必要である。</li> </ul>		
提言		<p>教育環境を整備するにあたり、人口動態等を把握しながら柔軟に進められたい。</p> <p>また、学校の大規模化や通学路等の学区をめぐるトラブル等も発生していることから、学校等適正配置計画を見直し、既存の学校施設の整備、修繕を適切に進められたい。</p>		

提言に対する回答、取組方針、取組時期等	
<p>教育環境を整備するに当たっては、人口動態等を把握しながら柔軟に進めていく。</p> <p>既存の学校施設の整備・修繕については、適切に進めていく。</p> <p>学園の森義務教育学校とみどりの学園義務教育学校については、大規模化が避けられない状況であるため、大規模化した際の課題に対処していく。</p> <p>教育大綱の策定と並行して、学校等適正配置計画の見直し作業実施中である。</p>	



つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	教育日本一を目指し教育内容を充実する		主管部	教育局
個別施策名	9	教育現場の支援体制整備	関係部	-
				-

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別支援教員教職員研修会事業については、卒業した児童、生徒の親等から話を聞くといった研修内容も検討してみてはどうか。また、特別支援教員教職員だけでなく、各学校長への研修も必要である。</li> <li>・ 1人の教職員が研修を受けただけでは勿体ないため、教職員が研修を受けた後のフォロー体制が必要である。</li> <li>・ 総合教育研究所の予算事業別事務事業評価シートを見ると、研修費よりも施設整備費に費用がかかっているが、研修で使用するパソコンが不足していることが課題であるならば、費用をかける事業の優先順位が違わないだろうか。</li> </ul>			
提言	<p>スクールカウンセラーや教職員のスキル向上のための研修会等を適切に行い、教育現場の支援体制整備を円滑に進められたい。</p>			

提言に対する回答、取組方針、取組時期等	
<p>今後とも、研修を適切に行うなど、教育現場の支援体制整備に取り組む。</p> <p>例えば、特別支援教育に関する研修については、特別な教育的支援を必要とする児童生徒を直接支援する教職員（特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任、特別支援教育支援員等）に限らず、これら以外の教職員をも受講対象に含め、計画・実施する。</p> <p>また、より効果的な研修を開催するとともに、研修に参加した教職員が校内研修等で研修内容を伝達し、共有できるよう働きかけを進める。</p> <p>なお、一般的に、専門家であり、有資格者であるスクールカウンセラーに対して、研修を行うのは困難である。</p>	

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	スポーツと文化・芸術を振興する		主管部	市民部
個別施策名	10	スポーツの振興	関係部	-
				-

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望	<p>・つくばマラソンの今後の方向性として、観客や応援を増やしたいということであれば、例えば「つくば国際マラソン」として、海外から招待選手を呼び、記録が出るような、注目されるようなマラソンにしていくことを提案する。</p> <p>また、健康マラソンについては「つくば市民健康マラソン」として、距離をハーフマラソン程度まで延ばすと、つくばマラソンとの差別化が図れると思う。</p> <p>・つくば市として、つくばマラソンに関する一つのビジョンを今後つくられたい。</p> <p>・個別施策に紐づく個別事業が各種スポーツ大会開催事業の一つしかないということについて疑問がある。スポーツの振興という非常に大きな施策に紐づく事業が、どのような経緯でこの一つしか選ばれなかったのかわからない。</p>			
提言	<p>つくばマラソンを初めとする主催事業を継続して円滑に実施されたい。</p> <p>さらに、スポーツの振興にかかわる意味で、様々な方法で市民への啓発や周知を実施することで、市民に理解を深めてもらえるよう取り組みを進められたい。</p>			

提言に対する回答、取り組み方針、取り組み時期等	
<p>つくばマラソン等の各種大会については、関係団体等と連携し、安全かつ円滑な実施を目指すとともに、より多くの市民が参加したり、観戦・応援やボランティアとして関われるよう、工夫しながら、スポーツを「する」「見る」「支える」というスポーツの様々な楽しみ方を市民に実感していただくよう取り組んでいく。</p> <p>また、市や関係団体等が開催しているスポーツやレクリエーションなど、様々なイベント等に関する情報については、市報、webサイト、ポスター等を活用し、情報の周知期間の確保にも十分配慮し、ピーアールを図っていきたい。</p> <p>なお、意見にある「つくば市戦略プラン個別施策」に紐づく個別事業については、つくば市戦略プラン改定時に検討する。</p>	

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	スポーツと文化・芸術を振興する		主管部	市民部
個別施策名	11	文化芸術の振興	関係部	-
				-

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術文化事業について、講演会等の各事業の選定過程がほとんど見えてこない。事業の選定の透明性を確保する必要があると思う。</li> <li>・芸術文化事業を行政が一元的に決めるということも問題だが、講演会等を選定する財団がユニークな考えを持っている場合は文化度が高くなることも考えられる。</li> <li>・総合的にまちづくりの中に芸術文化を位置づけなければ、市民には定着していかないと思う。</li> <li>・文化芸術と国際交流との連携がまだ弱いように思う。</li> <li>・講演会等に来た人が足を止めたくなるように、講演等と絡めた企画を周りの商店が行うなど、公だけではなく、民間に協力を求めてもいいのではないか。</li> <li>・つくば市民文化祭等においては、障害がある人たちと健常者とを分けずに、すべての市民が参加できる形をつくってもらいたい。</li> </ul>		
提言		<p>つくば市らしい文化芸術の振興、あるいはまちづくりという観点を踏まえた文化芸術の振興に努められたい。</p> <p>また、事業費や経費の執行について枠組みを設定すること、さらに、設備、施設の条件整備も進められたい。</p>		

提言に対する回答、取組方針、取組時期等	
<p>現在作成中の「つくば市文化芸術推進基本計画」では、世界に誇れる、個性あるつくばの文化芸術の創造の継続、推進のため、「専門組織、職員の充実」や「市、内外とのネットワークの構築」など、今回の意見要望に対応する施策を含む、複数の施策を設定している。本計画に従い、2022年度までの5年間で計画的に文化芸術によるまちづくりを進めていく。</p> <p>また、設備、施設の条件整備に関して、つくば市立ノバホールやつくばカピオでは車椅子用の動線や多目的トイレ等の整備は実施済のため、効果的な位置表示や動線表示を行い利用者への認知向上を図る。</p>	

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	スポーツと文化・芸術を振興する		主管部	教育局
個別施策名	12	文化財保護の推進	関係部	-
				-

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小田城跡の歴史ひろばにある小田城の説明について、大人が見て鑑賞にたえ得るものであるとよりいい。小中学生でも意義のある資料を見たほうが教育としては重要ではないか。</li> <li>・文化財に関するホームページは、文字が多く、写真が少ししか掲載されていないことから、非常に見にくいという印象である。昨今はSNSの利用が多いため、日頃からスタッフがSNS等により情報を発信していくような工夫や、市民にアピールするような方策があってもいいのではないか。</li> <li>・文化財の保存や調査は重要であるが、文化財を発信し、活用することが進められていないと思う。活用専門の職員を置くことで、情報発信について、しっかりと責任をとれる体制になるのではないか。</li> <li>・個別施策を考える際には、近現代の建築や無形文化財等も含めて文化財というものを広く捉えてほしい。</li> </ul>		
提言		<p>文化財等の保存、調査だけでなく、教育や地域づくりに活用することを工夫するほか、実際調査した結果の分析や公表等をわかりやすく市民に伝えるように進められたい。</p> <p>また、古代や中世の遺跡だけでなく、近現代も含めた形で、広く文化財というものを捉えていかれたい。</p>		

提言に対する回答、取組方針、取組時期等	
<p>提言や意見・要望の多くは担当課でも認識していたとともに、現在策定中の「つくば市文化財保存活用計画」の検討においても、策定懇話会、文化財保護審議会、教育委員会で同様の意見をいただいている。そのため、同計画案は調査・保存・活用の関連を強化し好循環させることを特色として作成している中、行政経営懇談会での提言その他もほぼ反映させた内容としつつあり、市事務事業評価と連結（リンク）させることで施策評価が行えるような仕組みも目指している。</p> <p>同計画は本年度末の策定後、平成31年度以降10年間で順次施策を実施するために、各施策の着手時期を早・中・後の3期区分で示しており、上記提言の前段は継続（拡充）、後段は中期（36・37年度頃までに）着手としている。</p>	

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	共生のまちづくりを推進する		主管部	市民部
個別施策名	13	市民協働の推進	関係部	建設部
				-

個別施策の評価

評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。
意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アダプト・ア・ロード、アダプト・ア・パーク事業については、美化活動にとどまらず、地域自治の方向に進んでいくべきである。</li> <li>・アイラブつくばまちづくり補助金事務については、継続性や地域づくり、自治ということまで考えると、枠組みの変更も必要かと思う。</li> <li>・市民協働の推進という個別施策だが、市民活動や市民協働をアイラブつくばに押し込んでしまっているように思う。</li> <li>・市民協働の推進については、全庁的に行うことである。</li> <li>・区会、自治会については、一度すべて整理し、考え直してはどうか。</li> </ul>
提言		<p>市民協働の観点から、様々な事業に取り組みたい。</p> <p>区会の加入率が低下している中で、区会と自治組織の意義について再度検討をされたい。</p> <p>また、アイラブつくばについては、イベント的なもの、継続的なもの、予算規模等、幅広く、柔軟な制度にしていく工夫が必要である。</p> <p>市民活動については、市民活動センターとの連携をさらに積極的に進め、情報の共有を図られたい。</p>

提言に対する回答、取組方針、取組時期等

区会については、地域の住民が自主的に結成し、相互の親睦や防犯・防災活動、地域に密着した課題解決の取組等を行っております。また、有事の際には地域で取組む「共助」が重要になっております。また、行政だけでは行き届かない情報の伝達等、行政運営を円滑に進めていく上でも区会の役割は重要であり、地域組織の大きな要となっています。以上のことから引き続き、加入促進を図り、住民意識の啓発に努めていきます。

アイラブつくばまちづくり補助事業については、つくば市補助金等交付適正化規則及びアイラブつくばまちづくり補助金交付要綱を遵守し、適正な運用に努めながら、事業担当課によるバックアップ体制を整え、全庁的な事業として柔軟な対応ができるよう工夫をしていきます。

また、申請された事業に関しても市民活動センターとの連携や情報共有を強化し、継続的事业となるよう助成金案内等の相談業務を充実させていきます。

アダプトアロード事業については、関係各ボランティア団体と連携し、幅広い層の市民が参加できるように検討を進めます。

また、つくば市戦略プラン改定に向けて、施策に紐づく個別事業の再検討を実施するとともに、新たに取り組みが進められている事業等も含めて指標、成果及び活動実績を明確化します。

指標となるべきデータ等については、平成30年度内に他自治体の状況調査を進めるほか、事業の担当課が実施しているアンケート調査等を活用し、平成31年度の予算事業別事務事業評価シートに反映させます。

アダプトアパーク事業については、住民自治の面を強め、公園に愛着を持ってもらえるようにホームページや冊子などにより周知の拡大を図っていきます。

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	共生のまちづくりを推進する		主管部	市民部
個別施策名	14	男女共同参画社会の推進	関係部	-
				-

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨今は、男女共同参画というよりもLGBTが重視されていることから、市としてLGBT向けのセミナー等も企画してもらいたい。</li> <li>・男女共同参画の推進という啓発の方向性はわかるが、言葉としては少し色あせてきたような気がする。それに伴い、男女共同参画セミナーの内容が社会の状況に即したものであるか検討する必要がある。</li> <li>・男女共同参画とは言えないが、つくば市役所内の女性の立ち位置については、個別施策の指標の一つになるのではないか。</li> <li>・男女共同参画について、制度としては少しずつ進んでいるが、継続的に推進しなければならないことだと思う。</li> <li>・指標の目標値は単純な人数ではなく、現在つくば市役所において、何名の女性管理職がいるのかということなどについても一つの指標として加えてもらえるとわかりやすい。</li> </ul>		
提言		<p>セミナーについては、男女共同参画社会をより広い意味で捉え、共生社会を目指すような内容を工夫されたい。</p> <p>また、一つの指標として、女性の管理職の割合や、育休の取得率等を加え、目標、実績の提示を工夫されたい。</p>		

提言に対する回答、取組方針、取組時期等	
<p>セミナーについては、新たに策定したつくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）に基づき、働き方改革、女性活躍推進、性的マイノリティ等社会情勢に即した内容のセミナーを実施できるよう検討していく。</p> <p>つくば市職員の女性管理職割合や、男性職員の育休取得率は、つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）において、すでに指標を設定し、実績等を公表しており、それぞれの所管課で業務を推進しているところである。</p>	

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	共生のまちづくりを推進する		主管部	市民部
個別施策名	15	国際化の推進	関係部	-
				-

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の広報紙の外国語訳については、多様な言語で情報を得られるため、引き続き進めてほしい。</li> <li>・外国人のための相談室事業については、英語と中国語しかわからないということではなく、どのような言語の場合でも通訳を探して受け入れるという姿勢で行ってほしい。</li> <li>・各種学校については、所在がつくば市であるならば、行政として、何らかの支援も含めて調査をしていく必要があるかもしれない。</li> <li>・国際交流協会の認知度については、市と協会が連携し、市がある程度深くかかわることで、様々な事業を発信していくといいのではないかと。</li> <li>・国際化の推進については、言葉が通じなくても受け入れるという体制を全庁的に実施してもらいたい。</li> </ul>		
提言		<p>国際交流協会の活動を積極的にPRし、認知度をあげられたい。</p> <p>また、つくば市に所在する外国人子弟を対象とした学校に関する補助の在り方については調査を行い、実態に即した支援を行ってほしい。</p> <p>さらに、外国人に対する相談事業を充実させ、国際化については全庁的に、市全体として対応を進められたい。</p>		

提言に対する回答、取組方針、取組時期等	
<p>国際交流協会事業の広報促進については、ホームページや広報紙等を通して、市民に対し周知し、協会の認知度向上に努めていく。また、市民窓口課と連携し、同協会の事業紹介チラシをすべての外国人転入者に対し今後も継続して配布していく。</p> <p>当協会で実施している「外国人のための相談室」事業については、協会内での相談窓口の意外に、外国人が在籍している保育所や幼稚園、そして学校を訪問しての出張相談を行なう等の検討を進める。</p> <p>国際化教育支援事業については、運営補助金として上限400万として補助対象経費の1/2を交付している。補助金以外の支援として、同校には体育施設がないことから、学校行事を行なう際には、公共施設を先行予約を当室が行うなどの支援も継続して行なっていく。</p>	

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	防災力・防犯力を強化する		主管部	市長公室
個別施策名	16	災害に強いまちづくりの推進	関係部	都市計画部
				消防本部

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望	<p>・ハザードマップは自分に関係のあるものだが、理解されにくいという課題があるため、自助・共助の必要性を市から積極的に働きかけてもらうといい。</p> <p>・防災で一番大事なことは、お年寄りや体の弱い方や外国人がいかにして早く逃げるかというところであるため、もう少しわかりやすい地域のマップをつくるべきである。</p>			
提言	<p>個別施策評価調書、予算事業別事務事業評価シートのいずれも記載方法を工夫されたい。また、挙げられている指標名について、目標値が挙げられていない事業、もしくは挙げられている数値の意味を把握しきれない事業が散見されるため、改善されたい。</p> <p>さらに、木造住宅耐震診断士派遣、木造住宅耐震改修費補助の募集件数の記載方法について工夫されたい。</p> <p>ハザードマップについては、市民の気になる点であると考えられることから、より一層様々な機会を利用して周知していくとともに、有効な使い方を工夫されたい。</p>			

提言に対する回答、取組方針、取組時期等	
<p>個別施策評価調書、予算事業別事務事業評価シートの目標値等の個別事業の記載方法、指標、成果及び活動実績の明確化を再検討をする。</p> <p>木造住宅耐震診断士派遣、木造住宅耐震改修費補助については、募集件数と申込件数が明確になるよう記載方法を工夫する。</p> <p>ハザードマップについては、平成30年3月に市内全戸配布したが、市広報紙や防災出前講座や学校防災会議、防災イベントなどの際にハザードマップを配布することなどにより、一層の周知を図っていく。</p>	



つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	防災力・防犯力を強化する		主管部	建設部
個別施策名	17	犯罪に強いまちづくりの推進	関係部	都市計画部
				-

個別施策の評価

評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。
意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような成果があったのかということ、個別施策評価調書から読み取ることができない。</li> <li>・街灯については、比較的重要な箇所の明かりが消えていることがあり、市民からの通報がないと明かりが消えているということに気が付かないという場合もある。見回り隊等と連携することで、それらの見落としもなくなるのではないか。</li> <li>・市民にとって、犯罪に強いまちづくりは生活の根本にかかわることから、今後とも強力に推進してもらいたい。要因を分析し、市に相応しい犯罪抑制を今後検討していくと、犯罪が起りにくい環境づくりの具体策に結びついてくるのではないか。</li> </ul>
提言		<p>個別施策評価調書の成果の記述については、よりエビデンスをつけて、読んだ際に内容をすぐに読み取ることのできるような形で具体的に記入されたい。</p> <p>また、見回り隊、ジョグパトロール隊、自警団、あるいは防犯・環境美化サポーター等に取組の内容をよく理解してもらい、防災意識の向上に貢献されたい。</p> <p>さらに、公務員宿舍の空き家対策、乗り物の犯罪行為対策等、つくば市に特徴的な犯罪に対応したまちづくりを今後検討し、強化されたい。</p>

提言に対する回答、取組方針、取組時期等

街路整備事業では、筑波研究学園中心地区の街路灯未整備地区に対し、自歩道改修整備と合わせ街路灯設置を平成33年度までの年次計画に基づき整備を進めていく。

防犯整備事業では、防犯灯の設置に関しては、明るく安全で安心なまちづくりを推進するため、平成28年度に市内約20,000基の防犯灯をLED化し、年間約400基増設している。さらに、防犯・環境美化サポーターやジョギングパトロールなどによるパトロールや防犯カメラの設置などにより、犯罪の抑止に努めている。

今後は、警察署や防犯パトロール団体、庁内関係各課など関係部署と連絡を密にし、課題を共有しながら、市民の防犯意識の向上及び犯罪の抑止を図るための有効な対策の検討や、情報提供など積極的に取組を推進する。

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	魅力ある居住・交流環境を創出する		主管部	都市計画部
個別施策名	20	つくば駅周辺地区の活性化	関係部	-
				-

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくば市中心市街地まちづくりビジョンと運動をしながらクレオ再生の方針を考えていくべきではないか。</li> <li>・中心市街地再生事業については、市民の意見を取り入れて進めていくということを、具体的に、さらに強調されたい。</li> <li>・つくば駅周辺地区の活性化については、規制・誘導を図ったエリアを成果指標として挙げているが、果たして、つくば駅周辺地区の活性化という事業に対してこの指標が妥当かどうか再検討すべきではないか。</li> <li>・急いではいけないが、急がなければならない。民間の経済ベースだけで考えられてしまうと、すぐに状況が変わってしまう可能性があることから、行政としての強力なインパクトを与え続けていく必要がある。</li> <li>・市民にわかりやすい形で事業が進められているということが見えなければならぬ。</li> <li>・市民、あるいは有識者の意見を取り入れるということが多角的に捉えてつくり上げていけば、つくばには多くの資源があるはずである。</li> </ul>		
提言		<p>拙速なプランニングはまずいが、土地、まちづくりに関する施策を立てるときには市場原理ということも抜きにしては語れない。今後そのバランスを考慮したまちづくりプランを立てて、かつそれを具体的な方法論として工程にのせていくことが、今問われている。そこは市がハンドリングする仕事として検討されたい。</p> <p>その際に、できたものに対して意見を問うのではなく、プランニングの段階から市民の意見を積極的に取り入れ、スピード感を持って今後検討されたい。</p>		

提言に対する回答、取組方針、取組時期等	
<p>今年度、中心市街地の再生に向けて、「つくば中心市街地まちづくりビジョン」及び「立地適正化計画」を策定したところであり、現在、平成31年中の取り纏めに向けて、ビジョンを実現していくための戦略づくり（指標づくりを含む）や具体事業の立案作業を全庁的に進めているところ。</p> <p>市における事業や制度の設計、公共空間活用等の各種事業の推進にあたっては、これまで策定過程で寄せられた様々な市民意見や専門家意見なども十分に踏まえながら、プレイヤーである民間事業者や団体、そして市民が持続的にまちの活力を生み出し続けるような都市環境づくりやエリアマネジメントシステムの構築に力点を置いていく。</p>	

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	交通環境を整備する		主管部	都市計画部
個別施策名	18	交通移動体系の整備	関係部	建設部
				-

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車事故防止対策について、個人損害賠償保険加入の義務化も検討すべきではないか。</li> <li>・ 高齢社会と輸送、移動については、どこまでが行政の支援で、どこから先は自分自身で行うことになるのか、将来、車の運転をしなくなった際のことを考えると非常に深刻な問題である。</li> </ul> <p>将来的には高齢福祉対策と一体化した対策を推進し、行政経費がかからないような方法を模索していくことが大事だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別事業について分析され、対応策を考えているということがよくわかる質疑、応答であったが、個別施策評価調書の記述からそのことを読み取ることができなかったことが残念である。</li> <li>・ アンケート調査等も踏まえ、さまざまな方策を考えているという点は非常によかった。</li> <li>・ それぞれよく対応しており、評価は「B+」という印象である。</li> </ul>			
提言	<p>荃崎、筑波地区では高齢化の進展が非常に急速に進んでおり、その中における公共交通網のあり方については、引き続き積極的に対応されたい。</p> <p>財政の出動等の難しい部分はあるとは思いますが、例えばNPO、あるいは他の部局との連携を図りつつ積極的に対応されたい。</p> <p>また、自転車通行の安全性についても引き続き整備されたい。</p>			

提言に対する回答、取組方針、取組時期等	
<p>公共交通網の整備については、一般会計予算における公共交通政策に対する適正な支出額を考慮しつつ、関係部局と連携を図りながら推進する。</p> <p>平成31年度には、改編施策を実施し、市内公共交通網の更なる利便性の向上を図ることとしており、特に高齢化の進んでいる筑波地区及び荃崎地区については、支線型バス等の新たな交通手段を導入し、利便性の向上を図る。</p> <p>また、自転車の安全利用については、「つくば市自転車安全利用計画」アクションプランに基づき、引き続き安全で快適な自転車利用環境整備を進める。</p>	

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	魅力ある居住・交流環境を創出する		主管部	都市計画部
個別施策名	19	住環境の整備	関係部	市民部
				生活環境部

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家及び所有者不明の土地については、早期の対応が必要であり、同じ問題として取り組まれない。</li> <li>・環境美化推進事業等に参加している方を中心として、さらに市民に広がっていくような意識が大切である。環境美化に関する事業の展開について、広報活動を行ってもいいのではないか。</li> <li>・各事業については、市民が参加する形をとっており、参加している人や周囲の満足度もわかりやすく、一つの市の施策の進め方のモデルである。その一方で、活動内容がマンネリ化しないように、事業の拡大を進められたい。</li> </ul>			
提言	<p>空き家が日本全国で大きな問題になっている中、有効な空き家対策について、思いつく限りの方策を考えて積極的に取り組まれない。</p> <p>また、所有者が不明の土地についても、住環境整備という観点から対応が必要と思われることから、所管課と連携して対策を練られたい。</p> <p>環境美化運動については、市民の満足度調査等を踏まえると、非常に満足度も高く、向上しているので一定の成果が見られるが、場合によっては、参加者がある程度限定されてきている可能性もある。より一層の普及拡大という点から、参加者をふやす努力を今後も進められたい。</p> <p>施策全体として十分事業は進行していると思われるが、より一層創意工夫を踏まえて遂行されたい。</p>			

提言に対する回答、取組方針、取組時期等	
<p>空き家対策については、平成30年3月に策定した「つくば市空家等対策計画」に基づき、空家等の所有者による適正な管理の促進と空家等や除却跡地の活用の促進等を総合的に推進する。</p> <p>適正な管理については、管理に関する相談対応やパンフレットの配布、相談会及びセミナー等の機会を設け、所有者の意識の啓発を行うとともに、著しく管理不全な特定空家等に対しては、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく措置を実施していく。</p> <p>空家等の活用推進に関しては、シンポジウムの開催（H30年度実施）による活用事例や活用方法、メリット等の啓発や関係団体との連携強化による空家バンク制度の充実及び移住希望者に対する支援策の検討を行う。</p> <p>環境美化運動については、次年度、更なる地域コミュニティの醸成と環境美化の推進を目的として、新たに参加する市民団体を増やすため、積極的な広報活動を行っていく。</p>	

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	自然環境を保全・活用する		主管部	生活環境部
個別施策名	21	低炭素化の推進	関係部	-
				-

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市あるいは市民の役割を明確にしなければならないのではないかな。</li> <li>・市民満足度が低いということは、市民が低炭素社会と聞いてもよくわからないということではないかな。さらに、市の様々な取組み内容がイメージできないというところに課題があるのではないかな。</li> <li>・低炭素化の推進は市民に見えづらい施策であるが、昨今の気象状況等を考えると、将来的に重要な課題になると思う。</li> <li>・市民には、“SMILE”という計画が浸透していないように思う。</li> <li>・低炭素化のメリットを各市民レベルで訴えて、節電やカーシェアリング、自転車を使うなど、身近な取組から始まってもいいのではないかな。週毎でもそのような運動を展開することで、少しでも低炭素に向けた動機づけになるのではないだろうか。</li> </ul>			
提言	<p>低炭素化の推進については、非常に成果が見えにくいだが、極めて重要な取り組みであるということから、より一層つくば市が先導役となり、その成果も含めて市民にわかりやすく、また、市民が参加することで取り組みが推進できているということを実感できるような施策を進められたい。</p>			

提言に対する回答、取組方針、取組時期等
<p>平成31年度に、“SMILE”を包含した法定計画である「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定する。策定に当たっては、専門家や市民で組織する「懇話会」を設置し、温暖化対策についての様々な可能性や施策等について検討を予定していることから、その中で、「市民に分かりやすく、市民が取り組みについて実感できる」ような施策についても検討する。</p>

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	自然環境を保全・活用する		主管部	生活環境部
個別施策名	22	環境意識の啓発	関係部	-
				-

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくば環境スタイルサポーターズ事業については、イベントの枠がすぐに埋まってしまうイメージがあり、参加できないことが多い。順調に事業が進んでいるということもあることから、参加枠拡大等の改善を検討してもらいたい。</li> <li>・中心市街地のみが開発されていくということではなく、周辺市街地と中心市街地をどう連携させていくかという視点も環境という問題を考えるときには大切ではないか。</li> <li>・若いときに環境の大切さを十分理解してもらうためには、教育現場との連携が非常に大切であることから、引き続き進めてもらいたい。</li> <li>・低炭素化の推進、つくばスタイル科の充実とも関連していることから、施策の横の連携も考えてもらえると相互に効果が出ると思う。</li> <li>・環境スタイルサポーターズは、どのようにすれば環境意識を持った会員に継続して活動してもらえるかというところにも注力してもらいたい。</li> </ul>		
提言		<p>環境スタイルサポーターズの会員数が順調に伸びていることは非常に喜ばしいことだが、自主的な活動をいかに推進していくか、また、自主的なサポーターズの増加について、今後注意を払われたい。</p> <p>環境意識の啓発事業で満足度がいまひとつ伸び悩んでいる理由もいろいろあると思うが、今後市民の満足度を上げるための方策を考えられたい。</p> <p>筑波山自然環境教育観察会をはじめとしてアウトドアなイベントが多いが、つくばの特性を考えて、中心市街地と周辺市街地の均衡がとれた環境の維持発展についても取り組まれたい。</p> <p>また、教育等の他の施策と連携して推進していくことで、より効果を高められたい。</p>		

提言に対する回答、取組方針、取組時期等	
<p>環境スタイルサポーターズが参加して楽しめるようなイベントを企画し、それに参加したサポーターズの口コミで新規の参加者を増やすような仕組みを構築したい。また、サポーターズへのアンケート調査を実施し、環境意識の啓発事業の満足度を向上するような方策を検討する。</p> <p>均衡の図られた環境の維持発展に取り組むため、中心市街地や周辺市街地の自然を学ぶ機会を提供したい。</p> <p>科学フェスティバル（教育委員会事務局）と環境フェスティバル（環境生活部）がコラボしたサイエンスコラボを毎年実施している。また、小学校4年生を対象とした「桜川の稚魚放流事業」を継続して実施するなど、今後も教育委員会との連携推進を図りたい。</p>	

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	自然環境を保全・活用する		主管部	経済部
個別施策名	23	資源の保全・活用	関係部	生活環境部
				-

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋敷林の適正な保全、管理について、抜本的なことを研究していく必要があるように思う。そのようなことを目標に掲げて事業を少しでも進めていくことが評価に値していくことではないか。</li> <li>また、他自治体の状況について調査が必要ではないか。</li> <li>・各個別事業については、どれも継続的な事業であるが、徐々に改善を図っていくことが必要である。</li> <li>・全体として事業は着実に実施されているが、予算事業別事務事業評価シートの目標の持ち方や、それを反映する指標について工夫の余地があるのではないか。</li> </ul>		
提言		<p>非常に事業の進捗状況を適正に自己評価することが難しい事業であろうと推察はできるが、本来行政評価の目的から踏まえると、PDCAサイクルを回すという観点から、自己評価の記述あるいは適切な指標の選択にさらなる工夫をされたい。様々な制約があることは今回の説明でわかったが、一方で、取り組んでいる成果が見えにくくなってしまっている部分が生じているのではないか。ぜひ、指標の立て方、さらに自己評価の記述を工夫されたい。</p> <p>緑の整備、推進という観点から調査研究や安全対策といった新しい対策も積極的に取り組まされたい。芝の回収の周知も含めて、より積極的な形に着手されたい。</p>		

提言に対する回答、取組方針、取組時期等
<p>来年度策定予定の市総合戦略プラン及び(仮称)第2次農業基本計画及び環境基本計画の整合性を図りながら、事業の位置づけを検討するとともに、他市町村の事例を調査研究し、事業の目的及び指標の設定について検討します。</p> <p>また、成果が見えるよう自己評価の記述も工夫します。</p> <p>平地林整備については、来年4月に施行される「森林経営管理法」、さらに茨城県森林環境譲与税を活用した平地林管理整備計画を策定し保全管理に取り組めます。</p> <p>環境面では、葉刈り芝ストックヤードの確保と芝野焼き等監視指導員を確保し、苦情の多い野焼き等の対策に取り組めます。</p>

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	産業競争力を高める		主管部	経済部
個別施策名	24	商工業の育成	関係部	-
				-

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタートアップ支援については県内一の新規創業としているが、比べる対象としては他県も含め、目標を高く持ってほしい。</li> <li>・市としてまとまってベンチャー企業を支援しているということが見えにくい。市、商工会、研究支援センター等を含めたサービス窓口の一本化になっていない。</li> <li>・高い成果をあげている個別事業については、さらに高い目標を設定してもいいのではないか。</li> <li>・既存の中小企業では、農業と同様に後継者不足による廃業ということが考えられる。既存の中小企業とベンチャー企業とを結び付ける方法も今後は必要になるかと思われる。</li> </ul>			
提言	<p>自己評価と適正な事業の成果がわかるような指標の立て方になっているか、全般的により一層の工夫を実施されたい。</p> <p>また、ベンチャー企業の支援、新規創業支援については、研究所や大学が多数立地している等というつくば市のメリットを考えると、さらに高い水準に目標を設定されてもいいのではないか。今の達成状況に満足することなく、高い水準を目指されたい。</p>			

提言に対する回答、取組方針、取組時期等	
<p>自己評価と目標指標については、事務事業の成果として相応しい指標名と指標設定を最終評価時までには工夫します。</p> <p>また、今年度4月の組織改編を受け、「商工業の育成」という観点から事務事業の見直しを新年度に向けて進めます。</p> <p>さらに、今年度策定の「つくば市スタートアップ戦略」に加え、新年度策定予定の（仮称）「つくば市産業振興計画」の中で、新たな事務事業と目標指標の設定を検討します。</p>	



つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	産業競争力を高める		主管部	経済部
個別施策名	25	農業の振興	関係部	-
				-

個別施策の評価

評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。
意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家の高齢化、後継者不足については全国的な問題があるが、喫緊の課題であることから、調査、研究が必要である。</li> <li>・農作物の価格等、つくばモデルのようなものをつくりあげること目標に掲げてはどうか。</li> <li>・農作物の付加価値に関することとして、市内の飲食店で地産地消を売りにしている店舗とのネットワーク構築を今後検討してはどうか。</li> <li>・つくば市として農産物の生産量、売上げがどれくらいあり、どれだけ増やしたいのか、また、後継者についても、何人不足していて、何人増やしたいのかということが見えてこない。</li> <li>・予算事業別事務事業評価シートについては、適切な指標の設定が必要である。</li> </ul>
提言		<p>事業に対して適切な指標が設定されているかという点については、抜本的に見直してもらう必要がある。その中で、農業の振興はつくば市にとっても非常に重要であり、農業のつくばモデルの構築を目指してもらいたいときに、つくば市がどのように農業振興を進めようとしているのか予算事業別事務事業評価シート、個別評価調書から見るができない。</p> <p>一方で、農業の振興は農業政策課だけで終わる話ではなく、例えば学校給食、地産地消等、他部署とも連携し、調査研究して、つくばブランドの育成といった今後打って出る形で取り組まれたい。</p> <p>その関連で、つくば市の農業として、後継者不足をどうしたいのか、農業の方向性について、どちらに何を持っていきたいのかわかるような指標を出されたい。</p>

提言に対する回答、取組方針、取組時期等

事務事業と目標指標の設定については、新年度に向けて重点事業の見直しを検討します。これに合わせ課内の業務分担を見直し、新年度から係を増設し、市の基幹産業である農業の振興について、引き続き庁内他部署とも連携して取組みます。

また、今年度から開始した若手農業者との座談会やプロ農家による農業経営勉強会、個別指導を継続的に実施し、新規就農者や若手農業者を中核農家に育成・支援に継続的に取り組めます。

今後の農業振興の方向性については、農業のつくばモデルの構築をはじめ、人材育成・確保、ワイン特区、地産地消や6次産業化をメインに、新年度策定する(仮称)「第2次農業基本計画」の中で検討するとともに、事務事業や目標指標の設定を模索します。

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	科学技術をまちづくりにいかす		主管部	政策イノベーション部
個別施策名	26	科学技術の振興	関係部	-

個別施策の評価

評価	A	施策について優れた成果が確認できることから、推進させるべきであると判断される。
意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> <li>・まさにつくばの至宝的事業かと思う。努力したことがよくわかるが、具体的な成果のアピールも必要ではないか。</li> <li>・市民との関係からすると、科学技術の振興による成果が市民にどのように還元されていくのかということを整理したほうがいい。</li> <li>・国際戦略総合特区といった仕組みでは、国や県による補助金や支援が終わった後の市のサポートについて、検討してもらいたい。</li> <li>・指標が毎年変わっているため、全体を見た際に、施策が順調に進捗しているのか、進捗していないのかわかりにくい。科学技術の振興というつくば市にとって非常に特徴のある施策であるがゆえに、全体の評価のあり方について検討を行ってほしい。</li> </ul>
提言		<p>全体的に科学技術の振興に積極的に取り組んでいるが、それを個別施策評価調書に反映できていないため、表記を検討されたい。</p> <p>また、個別施策評価調書の中で指摘されているが、科学技術振興というと、大学や研究機関中心になりがちであるがために、市民への還元については、より市民にわかりやすく伝わるような工夫を一層進められたい。例えば、大学や研究所との基本締結も市民にとってもメリットがあるということがわかると、基本協定を結ぶ意義への理解も促進されるのではないかと。</p> <p>さらに、市民との関係としては、市民参加型の体験型科学事業等についても積極的に進められたい。</p>

提言に対する回答、取組方針、取組時期等

昨年度から開始した「Society 5.0社会実装トライアル支援事業」については、今後は成果を施策評価により具体的に反映させるため、平成30年度から事務事業評価対象の個別施策とした。

科学技術の市民への還元については、国際戦略総合特区プロジェクトの成果を市内高等学校の生徒を対象とした出前講座の実施に向けて検討を進めているほか、内閣府の近未来技術等社会実装事業の枠組みを通じて、市民や市内事業所を対象に、近未来技術を活用した製品・サービスの社会実装を進める。

このほか研究機関との連携のもと、体験型科学教育のトライアルを進め、市民からのニーズも高い科学技術の教育への活用を具現化することで、市民が科学技術の恩恵を感じられる科学教育環境の整備に取り組む。

本施策については、引き続き「科学の街つくば」らしい取り組みを推進するとともに、その成果を市民に分かりやすい形でアピールできるよう、成果の発信についても工夫していきたい。

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	科学技術をまちづくりにいかす		主管部	政策イノベーション部
個別施策名	27	ロボットの街つくばの推進	関係部	-

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意識調査のつくばが「科学のまち」であることの恩恵を感じることがあるかという質問に、半分以上の市民が「感じていない」と答える。本当に必要としている人が恩恵を感じられるような施策こそ、行政が携わっていく分野でもあるかと思う。</li> <li>・モビリティロボットについては、楽しい部分もあることから、工程のようなものがある程度イメージされ、市民に示してもらえると、興味もわくのではないかと思う。</li> <li>・何を実施したかということではなく、実施したことで、目標に対して何ができてきたかということが重要である。ロボットにしても、市民生活に対して何が恩恵であり、何が問題か見えてこなければならない。場合によっては、違うロボットも近道かもしれないというような、柔軟な考え方が必要ではないだろうか。</li> </ul>			
提言	<p>「ロボットの街つくばの推進」事業というからには、実験だけでなく、市民に成果がわかりやすく見えるような形で、工程が示され、成果が市民生活にどう役立つのかというようなことを考えて事業を推進されたい。そのときに、セグウェイだけでなく、高齢者や障害者による利用、観光といったようなある程度ターゲットを絞った形でロボットを活用する、社会的に実装するというような観点で進められたい。</p> <p>事業が停滞しているという意味ではないが、事業としては推進する方向性を十分見直して、目標に向かって一層の推進を目指されたい。</p>			

提言に対する回答、取組方針、取組時期等	
<p>平成30年3月にセグウェイ等の搭乗型移動支援ロボットが一定の条件のもと車道でも走行可能となったため、周辺市街地や観光等への活用について検討を進める。</p> <p>社会実装については、内閣府の近未来技術等社会実装事業に座り乗り型の自動運転搭乗移動支援ロボットが選定されたことから、2020年度の社会実装を目指して、高齢者や歩行に支障のある方の移動支援の実現に取り組んでいく。</p> <p>生活にどう役立つのかについては、事業の取組成果などを分かりやすく市民に伝えるため、ホームページや広報誌等を活用した積極的な情報発信を進めるほか、実現したいロボットの街の将来像の検討などを、つくばモビリティロボット実証実験推進協議会とも連携しながら進めていく。</p>	

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	つくばの魅力を発信する		主管部	経済部
個別施策名	28	観光の振興	関係部	-
				-

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> <li>・まつりつくばの目的、位置付けをあらためて検討する必要があるのではないか。</li> <li>・サイエンスツアーの利用者数の減少について、原因の分析が必要ではないか。</li> <li>・各種イベントの経済効果が示されてもいいのではないか。</li> <li>・個別施策の方向の中で、「自然、歴史、文化、研究・教育機関」とあげられているが、現在の個別事業だけでは、観光として人を呼べないと思う。違うキーワードでの観光振興を考える必要があるのではないか。</li> <li>・つくばは万葉の時代から登場しており、歴史資源を積極的に売り出すべきではないかという学生の意見もある。</li> </ul>		
提言		<p>既存の観光資源に加えて、文化、芸術、スポーツ、歴史等の新しい視点の観光資源の開発に積極的に取り組まれない。</p> <p>また、インバウンドを狙っているのであれば、外国人観光客に対してどのようなサービスが展開できるのか早急に考え、着手する必要性があるのではないか。</p> <p>観光資源、観光施策に対しては、その成果が経済効果、観光客数等のより見える形で考えられたい。</p> <p>他の事業、部署との有機的な連携を今後さらに進展されたい。</p>		

提言に対する回答、取組方針、取組時期等	
<p>観光の振興について一つの目標とする時期は、次年度の国民体育大会や次々年度の東京オリンピックを見据えるべきと考えている。今年度、インバウンド向けウェブメディアの活用を進めているところであり、これを充実させることで外国人来訪者の増大を図ってきたい。まつり等のイベント実施やサイエンスツアーにあたっては、新しい視点を取り入れながら、他部署との連携を強化するとともに、外国人を含めた全ての人にとってどのようなサービスができるかについて、委員会や部・課で検討し、実施できるものから順次進めていく。観光施設の整備にあたっては、昨年度末から運用開始したウェブカメラが好評なため、インバウンド対応なども意識しながら各事業に優先順位をつけて随時進めていく。ジオパーク事業の推進にあたっては、インバウンドを意識しながら施設整備・広報活動をさらに加速させていく。</p>	

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	つくばの魅力を発信する		主管部	市長公室
個別施策名	29	シティプロモーションの推進	関係部	-
				-

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望		<p>・市はどのような人の移住を求めているのか、効果的な人なのかということについてフィードバックする意味でも、移住してきた方にアンケート調査を行うといいのではないかと。</p> <p>・魅力を発信することは大切だが、その魅力を発信していく目的、目標がどこにあるのか。移住・定住を促進しているが、人口が増えるということは必要なことなのか。そのような観点でプロモーションを進めてもらいたい。</p> <p>・シティプロモーションの推進については、誘客という観光部分のPRも含まれているはずだが、来客数や売り上げについて、実際の観光促進にどの程度結びついているか成果指標として見えてきていないように見受けられる。</p> <p>・他のTX沿線都市と連携し、つくばエクスプレス沿線全体のプロモーションということを考えてほしい。</p>		
提言		<p>シティプロモーションの効果について、アンケート調査等で成果を確かめることを積極的に推進されたい。単にシティプロモーションを実施するだけということではなく、その先を見据えた形で施策を考えられたい。そのためには、他部署との連携のもとに、シティプロモーションを進められたい。</p> <p>また、大きなテーマにはなるが、「つくばの魅力」とはなにか、関係人口はどれくらいを目標におきたいのかといったことも踏まえて、ぜひ魅力あるつくばの発信及び勧誘を推進されたい。</p>		

提言に対する回答、取組方針、取組時期等	
	<p>提言の内容を踏まえ、来年度、つくば市内に3年以上居住する方を対象に、移住・定住の側面からアンケート調査の実施を予定している。このアンケートに、これまで実施してきたシティプロモーションの効果を知る項目も含め、これまでの成果を検証していきたい。</p> <p>また、他自治体と比較して、つくばのどの部分に魅力を感じているのかなどについても調査するとともに、「つくばの魅力」から得られる回答からは、観光施策につながる視点もあると想定されるため、観光推進部署と情報を共有し、連携方策も含めて今後のシティプロモーション戦略につなげていきたい。</p>

つくば市戦略プラン個別施策評価結果対応検討調書

基本施策	自立した行政運営を推進する		主管部	総務部
個別施策名	30	行政改革の推進	関係部	財務部
				-

個別施策の評価				
評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。		
意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体として前年度の事業の見直しや窓口業務等も改善されて大変結構だと思う。</li> <li>・RPA、ロボット化によって事務量を減らすということも検討してみてはどうか。</li> <li>・働き方改革推進については、部署ごとに1人当たりの時間外が前年度と比較してどれだけ減ったかということが大切である。</li> <li>・働き方改革推進は時間外勤務だけの話ではなく、介護や育児休暇取得の推進も実施しているのであれば、その推移についても積極的に記載してもらいたい。</li> <li>・職員の有給休暇の取得を促進されたい。</li> </ul>			
提言	<p>PDCAサイクルということが、適正に機能していることが見受けられる。一方で、働き方改革を推進していくためには、より精緻に現在の業務量について、人件費の動向等を他の部署と連携する形で総括的に把握して推進されたい。</p> <p>また、介護や育児支援も併せて、より見える化を進められたい。</p> <p>さらに、行政改革の推進という観点から、窓口のAI化等、他の部署、他の計画とも連携し、積極的に施策を推進されたい。</p>			

提言に対する回答、取組方針、取組時期等
<p>働き方改革の推進を図るため、関係各課と連携し、時間外勤務時間数以外の定量データ活用の検討や人件費の動向も踏まえて、業務量の総括的な把握に努める。</p> <p>また、介護や育児支援の活動実績や成果については、予算事業別事務事業評価シートに記載する。</p> <p>さらに、今後も全庁的な業務改善活動の継続及び業務効率化に向けた職員の意識醸成等を図るため、「つくば市情報化推進計画」に基づくRPAによる業務自動化、AI等の活用及び各所属ごとの業務量や所掌事務の調査を踏まえた組織改編等により、効率的かつ効果的な行政運営を進めていく。</p>